

子育ての基本は家庭に、子育て支援は地域ぐるみで

市では「子どもが家族とともに笑顔で暮らせるまち」を基本理念として「野田市エンゼルプラン」を平成12年に策定しました。その後、17年には「新エンゼルプラン」として改訂し、さまざまな子育て支援事業に取り組んできました。が、同プランの前期計画は21年度で終了するところから、22年3月には3つの基本目標とアツの基本施策からなる「新エンゼルプラン（後期計画）」を策定しました。後期計画では、20年に実施した「子育てに関する意向調査」の結果から、保育サービスに対する市民ニーズが大きいことを踏まえ、民間活力による保育所整備や学童保育所の過密化解消などに取り組むとともに、児童虐待の防止、母子家庭への自立支援などに重点的に取り組んでいくこととしています。

すべての人が安心して楽しく
子育てができるように



家族の不安を軽減するための地域における子育て拠点づくり、民間活力や社会資源を活用した多様な保育サービスの提供、母子保健との連携による適切な児童福祉へのつなぎ、地域における安全・安心なまちづくりなど、子育て支援施策の充実を図ることで、すべての人が安心して楽しく子育てができるよう努めいくことを目標とします。



3つの基本目標

すべての子どもが毎日明るく健やかに学び、成長するため、勤労や職業に対する意識や価値観の育成、ひとり親家庭への支援、児童虐待の早期発見・対応など、子どもが心身ともに逞しく生きる力を社会全体で育んでいく施策に積極的に取り組みます。

すべての子どもが毎日明るく
健やかに学び、成長できるように

地域において子育て支援の拠点として活動するNPOなどの連携の充実、企業の子育て支援の取り組みについて啓発などの面で協力すること、支援・配慮を必要とする子どもたちについて、地域全体で見守っていく体制づくりなど、子どもの健やかな育成の基盤となる地域における取り組みを進めていきます。

地域の宝（子ども）の成長を
みんなで支えられるように

プランの期間

見直し

平成 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 年度

エンゼルプラン全体の計画期間

旧プラン計画期間

新エンゼルプラン：前期計画期間

新エンゼルプラン：後期計画期間